第４講　【近代編】欧米の国民国家形成

PART1 ウィーン体制の成立と動揺

Chapter1　ウィーン体制の成立

目標
ウィーン会議の目的を知ろう。
ウィーン体制下で最強となった２国について学ぼう。

1　ウィーン会議

①〔　　　　　　　　〕**会議**（1814～15年）

フランス革命とナポレオン戦争の戦後処理のため，オスマン帝国を除く全ヨーロッパの支配者が参加する国際会議を〔　　　　　　　　　　　〕のウィーンで開催。

A　目標

列強間の合意・協調に基づく国際秩序の再建（領主制廃止などは維持）

B　議長

オーストリア外相（のち宰相）〔　　　　　　　　　　　〕

C　参加国

大小 143 の王国・公国が参加し，何とか妥協

※「**会議は踊る，されど進まず**」

会議は踊る

②内容

フランスのタレーラン外相らが，フランス革命前の王朝と旧制度の復活をめざす**正統主義**を主張。しかし現実には列強諸国の意向が優先され，無視されることが多かった。

A　**フランス・スペイン**とイタリアのナポリで**ブルボン王家**が復活

B　**ロシア**は皇帝がポーランド国王を兼任し，フィンランドを得る

C　スウェーデンがフィンランドなどを失い，ノルウェーを得る

D　**イギリス**が旧オランダ領**スリランカ**・〔　　　　　　〕**植民地**とマルタ島を領有

E　**オランダ**が旧オーストリア領**南ネーデルラント〔ベルギー〕**を併合

F　**オーストリア**が**北イタリア**〔ヴェネツィア・ロンバルディア〕を獲得

G　プロイセンが東西に領土を拡大

H　**ドイツ連邦**の組織→ドイツ統一はならず

I　**スイス**が 22 州の連邦による〔　　　　　　　　〕**国**となる

2　ウィーン会議の結果

①〔　　　　　　　　　　　〕の確立

フランス革命とナポレオン体制下にヨーロッパに広まった〔　　　　〕**主義**と**ナショナリズム**〔国民主義･民族主義〕は何とか抑えられ，ヨーロッパの政治的現状維持をめざす，メッテルニヒらの正統主義（＝復古主義・保守主義）が優位となった。

②列強体制の定着→ 19 世紀半ばの一時期を除き 20 世紀初めまで列強の協議によって勢力均衡と平和を維持。

A 〔　　　　　　〕→陸軍国

あ　1815年に皇帝**アレクサンドル１世**が〔　　　　〕**同盟**を提唱
イギリス・ローマ教皇・オスマン帝国を除くヨーロッパ諸国が参加

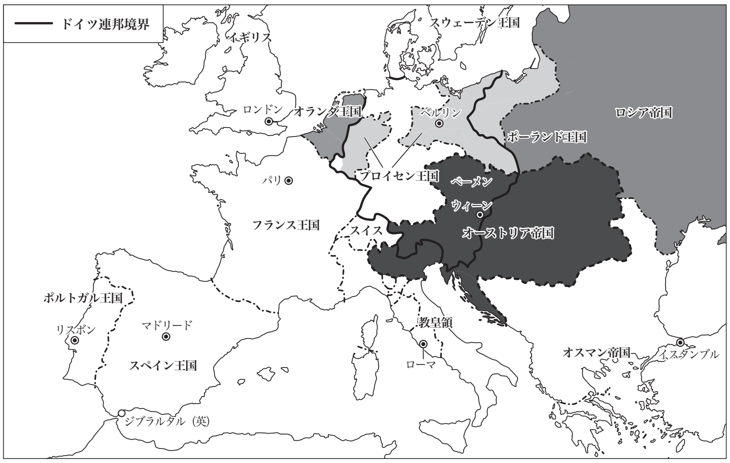
い　1815年に**イギリス・プロイセン・オーストリア**と**四国同盟**を結ぶ

う　1818年に**フランス**が加わり五国同盟に

B 〔　　　　　　　　〕→海軍国

あ　貿易を展開し，世界一の経済力を誇る

い　19 世紀の世界は**パクス = ブリタニカ**〔イギリスの平和〕



ウィーン体制下のヨーロッパ

まとめ
ウィーン会議の目的は，フランス革命とナポレオン戦争の戦後処理だった。
ウィーン体制下では，陸軍国ロシアと海軍国イギリスが最強となった。

Chapter2　ウィーン体制の動揺

目標
ウィーン体制下で台頭してきた新たな考えを知ろう。
ウィーン体制下の，フランスの動向をおさえよう。

1　ウィーン体制の動揺

①自由主義的改革を求める動き→鎮圧される

A　ドイツの学生組合〔ブルシェンシャフト〕による改革要求

B　スペインの立憲革命やイタリアの秘密結社カルボナリの蜂起

C　ロシアの**デカブリスト〔十二月党員〕の乱**（1825年）

D　オスマン帝国からの**ギリシア独立運動**（1829年に成功）

E　ラテンアメリカでの独立運動

②列強の足並みの乱れ

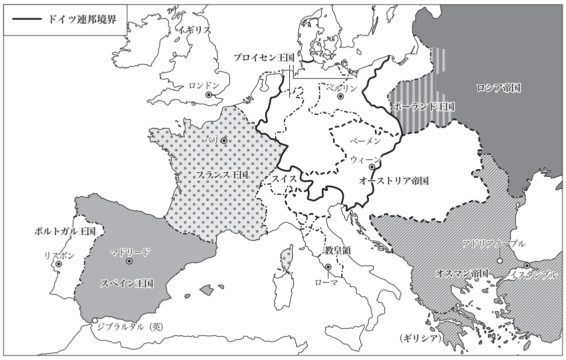
オーストリアのメッテルニヒ宰相は，一連の独立運動に反対したが干渉はできなかった。それに対し，例えばイギリスのカニング外相は独立運動を支持し，ウィーン体制の抑圧的な現状維持政策から距離を置き始める。

2　七月革命

①「復古王政」下のフランス情勢

ルイ 18 世を継いだ**シャルル 10 世**が，厳しい制限選挙制を採用する立憲君主政，貴族・聖職者を重視する反動政治を展開。

※ 1830年，国民の不満をそらすためアルジェリア遠征を実行するが，選挙で反政府派が圧勝すると未招集のまま議会を解散。



ウィーン体制下のヨーロッパ

②**フランス〔　　　　〕革命（1830年）**→立憲君主政の確立

自由主義・ロマン主義が発展した**ナショナリズム〔国民主義・民族主義〕**の勢力が，ウィーン体制下の復古主義・保守主義を倒す。

A　ラ＝ファイエットらが主導する革命が起こりシャルル10世は亡命

B　オルレアン家の〔　　　　　　　　　　　　　〕による**七月王政**が成立

③七月革命の影響

列国は，ウィーン体制下のメッテルニヒの反自由主義・反民族主義的な政治姿勢に協調しなくなった。

1830年　ドイツ反乱→鎮圧されるが西部諸国は立憲君主政に

ポーランド反乱→翌年ニコライ１世のロシアが鎮圧

ベルギー〔南ネーデルラント〕がオランダから独立し翌年立憲君主政の王国に

1831年　イタリア反乱→北イタリア諸国の独立運動をオーストリア軍が鎮圧

マッツィーニの「**青年イタリア**」結成

1832年　イギリスの第１回選挙法改正

『民衆を導く自由の女神』（ドラクロワ）

まとめ　ウィーン体制下でナショナリズム〔国民主義・民族主義〕が台頭した。
復古主義的な復古王政が，フランス七月革命により倒された。

第 4 講　PART1　確認問題

1　ウィーン会議の議長として，各国の利害関係を調整した人物はだれか。

① タレーラン　② ビスマルク
③ カニング　④ メッテルニヒ

2　ウィーン会議で，フランスのタレーラン外相らが主張した考えを何というか。

① 民族主義　② 正統主義
③ 国民主義　④ 自由主義

3　ウィーン会議でイギリスがオランダから獲得したのはどこか。

① ノルウェー　② フィンランド
③ 北イタリア　④ スリランカ

4　南ネーデルラント〔ベルギー〕を併合した国はどこか。

① ロシア　② スウェーデン
③ オランダ　④ オーストリア

5　神聖同盟を提唱したロシアの皇帝はだれか。

① アレクサンドル 1 世　② アレクサンドル 2 世
③ ニコライ 1 世　④ ニコライ 2 世

6 ウィーン体制を支えた四国同盟に1818年に加わった国はどこか。

① イギリス　② フランス
③ オーストリア　④ プロイセン

7 ロシアで起こった青年将校による自由主義的改革を要求する運動を何というか。

① プガチョフの乱　② ステンカ＝ラージンの乱
③ ナロードニキ運動　④ デカブリスト〔十二月党員〕の乱

8 ウィーン体制下の復古主義・保守主義を倒したのは何という勢力か。

① ロマン主義　② 正統主義
③ ナショナリズム　④ 社会主義

9 フランス七月革命の結果，国王はだれからだれに変わったか。

① ルイ18世→ルイ＝フィリップ　② ルイ18世→シャルル10世
③ シャルル10世→ルイ＝フィリップ　④ シャルル10世→ルイ18世

10 フランス七月革命の影響下，ベルギーは1830年にどの国から独立したか。

① イタリア　② ドイツ
③ オランダ　④ ポーランド

第 4 講　PART1　確認問題 解答

1 解答：④　メッテルニヒはオーストリアの外相（のち宰相）。

①：フランスの外相。
②：1871 年にドイツ統一を実現したドイツ帝国の宰相。
③：イギリスの外相。

2 解答：②　正統主義は，フランス革命前の王朝と旧制度の復活を目指そうとする考えである。

①：ナショナリズム〔民族主義〕のことで，国民国家の建設を目指す考え。
③：ナショナリズム〔民族主義〕のこと。
④：個人の自由を尊重し，それを集団や国家に優先させようとする考え。

3 解答：④　イギリスは旧オランダ領スリランカ・ケープ植民地とマルタ島を領有した。

①：スウェーデンが獲得した。
②：ロシアが獲得した。
③：オーストリアが獲得した。

4 解答：③　オランダが旧オーストリア領南ネーデルラント〔ベルギー〕を併合した。

①：ロシアはフィンランドを獲得した。
②：スウェーデンはフィンランドなどを失いノルウェーを獲得した。
④：オーストリアは北イタリア〔ヴェネツィア・ロンバルディア〕を獲得した。

5 **解答：①**　神聖同盟には，イギリス・ローマ教皇領・オスマン帝国を除くヨーロッパ諸国が参加。

②：農奴解放令など改革を実施し，ロシアの近代化を図った皇帝。
③：アレクサンドル 1 世の急逝により即位した皇帝。
④：日露戦争に踏み切った皇帝。

6 **解答：②**　四国同盟は，1818 年にフランスの加盟を認め五国同盟となった。

①：1815 年に四国同盟を締結した。
③：1815 年に四国同盟を締結した。
④：1815 年に四国同盟を締結した。

7 **解答：④**　反乱を起こした人々をデカブリスト〔十二月党員〕という。

①：18 世紀後半にロシアで起こった大規模な農民反乱。
②：17 世紀後半にロシアで起こった農民反乱。
③：19 世紀後半にロシアの青年知識人層が掲げた革命運動。

8 **解答：③**　ナショナリズムは国民主義，民族主義とも呼ばれ，自由主義やロマン主義から発展した。

①：19 世紀前半を中心にヨーロッパで起こった芸術運動。
②：フランス革命前の王朝と旧制度の復活を目指そうとする考え。
④：産業革命によって，格差が広がり労働問題・社会問題が発生したのに対し，マルクス･エンゲルスによって作られた新しい思想。

9 **解答：③**　フランス七月革命後，オルレアン家のルイ = フィリップによる七月王政が成立した。

①：ルイ 18 世はシャルル 10 世の前の国王。
②：7 月革命前にシャルル 10 世がルイ 18 世から王位を継いだ。
④：ルイ 18 世はシャルル 10 世の前の国王。

10 **解答：③**　1830 年，ベルギー〔南ネーデルラント〕はオランダから独立し，翌年立憲君主政の王国が成立した。

①：イタリアでは 1831 年に反乱が起こった。
②：ドイツでは 1830 年に反乱が起こった。
④：ポーランドでは 1830 年に反乱が起こった。